

# 第2回 子ども衛星アイデアコンテスト 作品募集について

平成19年4月25日

宇宙航空研究開発機構  
宇宙教育推進室 室長  
広浜 栄次郎

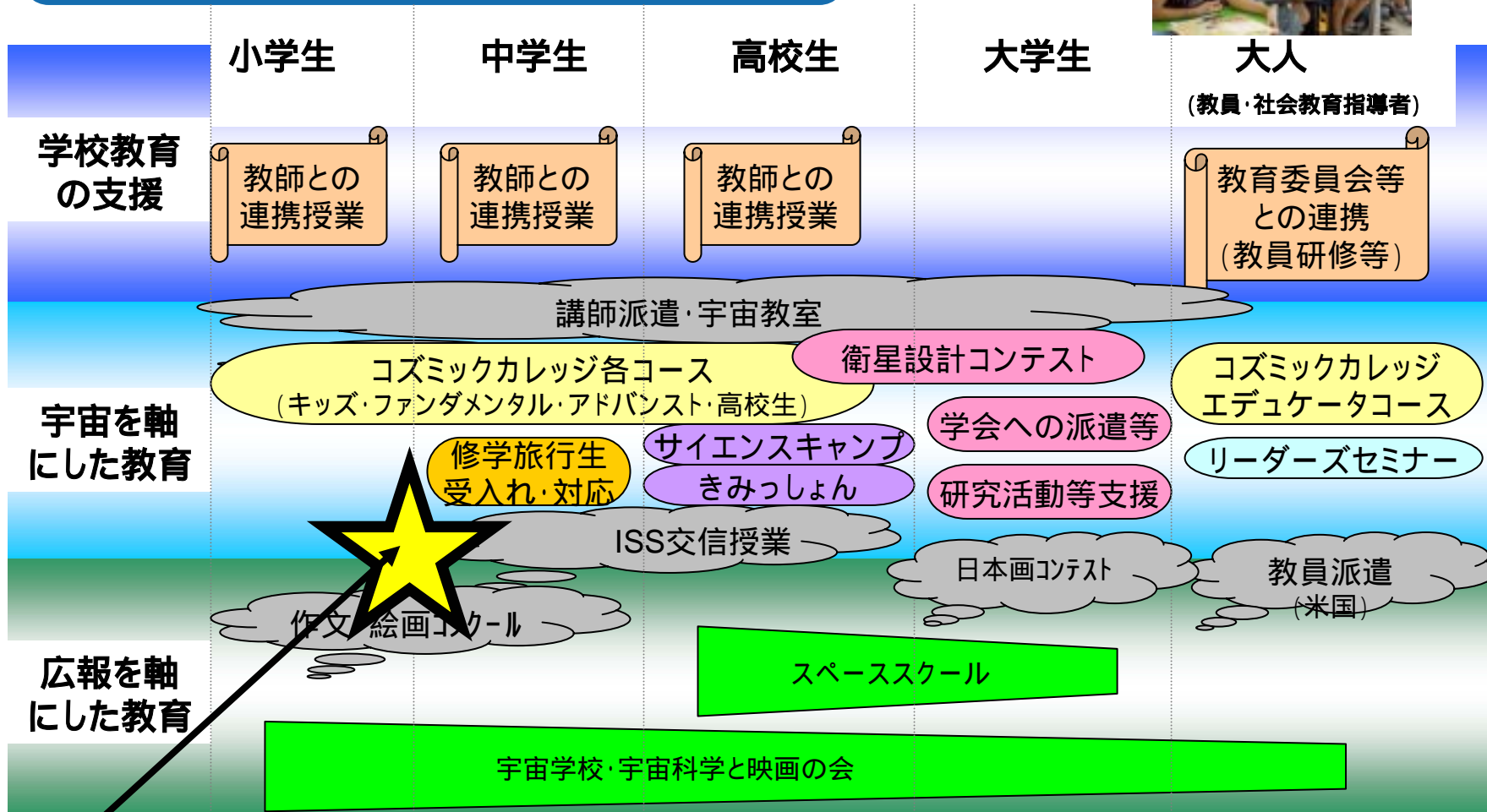
# 1. 宇宙教育の目指すもの

- ・ 次代を担う宇宙分野の人材の確保を期待するだけでなく、科学技術分野全体に対して興味を抱く人の裾野の拡大、また、子どもたちの科学的な観察・思考・課題解決能力のかん養のため、初等中等教育段階で宇宙の魅力、おもしろさを伝え、興味・関心も持ってもらい、ひいては宇宙分野の研究者・技術者を志望する裾野を拡大する。
- ・ 宇宙に関する科学や技術、そして宇宙活動には、青少年に感動を与える、他の分野にはない魅力、大きな影響力が詰まっており、教育活動の素材としてのポテンシャルが極めて高い。従って、これらの素材を使った宇宙教育によって、宇宙の人材育成にとどまらず、幅広い人づくり教育を行い、次世代の日本を担う青少年の、広い意味での人材育成・人格形成に貢献する。

コズミックカレッジにて



## 2. JAXAの教育プログラム



子ども衛星アイデアコンテスト

## 3. コンテストの概要

### (1) 目的

全国の小中学生に、「人工衛星のアイデアを提案する」という課題に取り組む機会を提供し、宇宙を身近に感じるとともに地球・生命の大切さや宇宙開発の意義などを学んでもらう。また、全国共通の教育プログラムであり、全国の子どもたちが同じ目標に向かって活動できることを目的とする。

### (2) 経緯

- ・平成16年度から、宇宙教育センターで社会教育・生涯教育の指導者（リーダー）を育成する“リーダー育成活動”を開始。
- ・平成17年度に、育成されたリーダーが、子どもたちに対して行う教育実践の場（教育プログラム）を提供するための具体的な形のひとつとして、本コンテストが企画された。
- ・平成18年度から、広く全国規模でのコンテストとして第1回コンテストを開催した。対象は全国の小中学生であるが、財団法人日本宇宙少年団（YAC）と連携することで、全国各地のYAC分団の応募・協力が得られている。

## 4. 第2回子ども衛星アイデア コンテスト作品募集について

### (1) 募集

募集期間:平成19年4月16日(月)  
~6月30日(土)(当日消印有効)

募集区分:個人の部(イラスト部門)、  
グループの部(イラスト部門・クラフト部門)

周知方法:プレスリリース、ウェブサイト、メール  
マガジン、全国の科学館等へチラシの配布

### (2) 表彰区分

- ・最優秀賞:小部門ごとに1名または1グループ
- ・優秀賞:小部門ごとに1名または1グループ
- ・JAXA賞:全部門から1名または1グループ
- ・YAC賞:全部門から1名または1グループ

### (3) 表彰式

第1回目同様、JAXA宇宙科学研究本部一般公開時に表彰式を行う予定

個人の部(イラスト部門)  
小3以下、小6以下、中学以下  
最優秀賞・優秀賞・JAXA賞・YAC賞

グループの部(イラスト部門)  
小3以下、小6以下、中学以下  
最優秀賞・優秀賞・JAXA賞・YAC賞

グループの部(クラフト部門)  
小3以下、小6以下、中学以下  
最優秀賞・優秀賞・JAXA賞・YAC賞

第2回コンテストの募集区分

第1回時にクラフトも募集区分に加えてはどうかという声があり、  
また、工作を行うことで子どもたちが立体的に、リアルに人工衛星を  
とらえ、考える機会が提供できることから、新たにクラフト部門を新設

## 5-1. 第1回の実績



審査のようす



表彰式のようす

### (1) 募集

募集期間:平成18年4月~6月

応募総数:221作品(個人の部 193作品、グループの部 28作品)

募集区分:個人の部、グループの部

(各部門とも小学校3年生以下、小学校6年生以下、中学生以下の小部門  
(計6部門)から構成)

### (2) 審査

5名の審査委員(以下記載)により審査を実施。

- ・的川泰宣(JAXA宇宙教育センター長)
- ・遠藤純夫(JAXA宇宙教育センター参事、元全国中学校理科教育研究会会長)
- ・松本零士(YAC理事長)
- ・橋本正之(元JAXA宇宙科学研究本部助教授)
- ・宮下英雄(YAC理事、聖徳大学人文学部教授)

### (3) 審査結果

個人の部:最優秀賞3作品 優秀賞3作品 審査員特別賞10作品

グループの部:最優秀賞2作品 優秀賞5作品 審査員特別賞5作品

(受賞作品はYACウェブサイトならびにJAXA宇宙科学研究本部一般公開会場で展示)

### (4) 表彰式

最優秀賞受賞者は、JAXA宇宙科学研究本部一般公開に招待し、その場で表彰式を実施

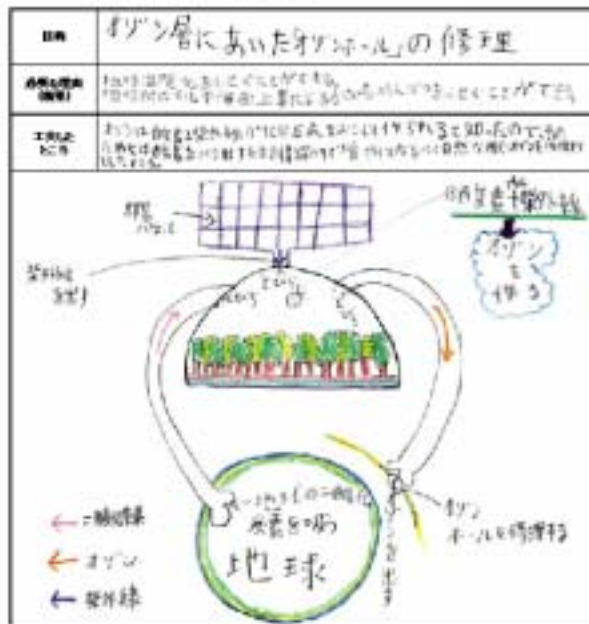
# 5-2. 第1回受賞作品

## 個人の部 最優秀賞

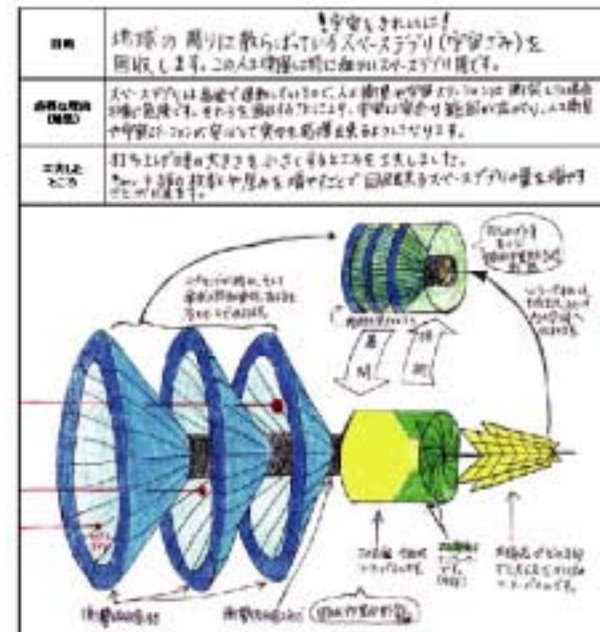
個人の部 小学生以下  
 本誌：沙流美（宮城県）  
 作品名：植物衛星ははは



個人の部 小学生以下  
 中村 真（東京都）  
 作品名：オゾンホール修理衛星



個人の部 中学生以下  
 和田 浩一（神奈川県）  
 作品名：Space Debris Catcher  
 （スペース デブリス キャッチャー）



# 5-3. 第1回受賞作品

**グループの部**  
**最優秀賞**

グループの部 小学生以下  
 立科小理科クラブ理科グループ (長野県)  
 作品名: 地震予知衛星「大地」

目的	地震を予知して被害を減らしたい。
動機や着想 (着想)	地球のプレートが動いて、次に地震が起きるとかが予測できると、それは地震による被害が減少するに役立つ。
工夫している	太陽電池が動くこと、人工衛星の形。

グループの部 中学生以下  
 日本宇宙少年団広島分団中学生グループ (広島県)  
 作品名: 2005

目的	世界各地の花々の開花状況を衛星から確認して、日常での農業に役立てたい。
動機や着想 (着想)	日本のあちこちの紅葉が見つけたい。よ、世界各地の植物の色の違いを見たい。 衛星で撮った画像をパソコンで見る。
工夫している	ノートとして、「ていこ」で、「世界地図」で場所を指定。 ○ 高精度の光センサーと研究。



## 5-4. 第1回応募作品集計

### 個人の部分類結果

探査	46	ほかの惑星などの探査、研究
利用	35	人口把握、安全管理、監視
観測	27	地球の自然環境観測、資源調査
技術	22	宇宙空間での実験、研究、発電など
娯楽	19	人を楽しませる機能
デブリ	14	スペースデブリの回収
災害	12	災害の予知、予防、救助
宇宙人	8	宇宙人との関わり
回復	6	自然破壊からの回復・保全
その他	4	
合計	193	

### グループの部 分類結果

観測	9	地球の自然環境観測、資源調査
技術	3	宇宙空間での実験、研究、発電など
娯楽	3	人を楽しませる機能
探査	2	ほかの惑星などの探査、研究
利用	2	人口把握、安全管理、監視
デブリ	2	スペースデブリの回収
災害	2	災害の予知、予防、救助
宇宙人	1	宇宙人との関わり
回復	1	自然破壊からの回復・保全
その他	3	
合計	28	

## 6. 子どもたちの反応・JAXAでの評価

### 子どもたちの反応

衛星のいろいろな勉強ができた。僕も衛星をつくりたくなった。

自分のアイデアで衛星を考えたのは面白かった。

先生の話も良くわかりやすく、ためになった。

衛星を自分で考えられて良かった。こういう機会があると良い。

私は、衛星は役に立って良いものだと思っていたけど、最後に宇宙のゴミになってしまうのはいけないことだと思ったから、応募用紙にゴミを無くす「クリーン衛星」を書きました。もっともっと衛星のことを知りたいと思いました。

良いアイデアが思いつかず焦っていましたが、アイデアが決まるとドンドン進みました。楽しくできて良かったです。またやりたいです。

### JAXAでの評価

YAC埼玉支部通信誌より抜粋

子どもたちの良い反応に加え、人工衛星の基礎知識などを指導・助言する大人からも、「自分自身も良い勉強になり、子どもたちへの教え方を創意工夫できた」「思った以上に子どもたちが積極的に意見を出し、子どもたちとの活動に活気が出た」などの意見があり、**大人にとっても、また活動全体にとっても大変有意義な機会の提供であったといえる。**

よって、今後も本コンテストを通じての教育活動を継続したい。

## 7. JAXA教育プログラム開催予定

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	'08/1	2	3	
	← 募集(4/16~6/30)				7/21(表彰式。相模原)								
	通年。先刻各地の学校と連携												
教育委員会との連携	通年。先刻各地の教育委員会等と連携												
講師派遣・宇宙教室	講師派遣は通年(全国各地)						▶ 宇宙教室は宇宙の日前後(全国約50箇所)						
コズミックカレッジ	4/30(国分寺)以降、各コース全国各地にて開催												
衛星設計コンテスト	← 募集(4/2~5/11)											10/28(最終審査、表彰式。東京)	
学会への派遣等	6/25~8/24(↓ISU SSP(北京)↓)						ISU修士コース(9月から1年間(仏・ストラスブール))						
	IAC学生派遣(9/24~28)												
研究活動支援	大学生等の研究開発を年度を通じて支援												
サイエンスキャンプ	7/25~27(つくば)、7/31~8/2(調布)、8/8~10(角田)												
きみっしょん	8/6~10(相模原)												
ISS交信授業	常時募集												
作文・絵画コンクール	← 募集(5/9~6/29)											10/7(表彰式。日本科学未来館)	
教育派遣(米国)											2月ごろ		
スペーススクール											3月ごろ		
宇宙学校・宇宙科学と映画の会	宇宙科学と映画の会(4/14済。東京)					宇宙学校は例年秋ごろ数回程度開催(場所未定)							